

Lili

LIBRARY LIFE

富山大学中央図書館ニュース

2013.1
第11号



ヘルン文庫と富山大学の関係

ヘルン文庫とは、文学者・ジャーナリスト・英語教師など多彩な面を持つラフカディオ・ハーン（1850-1904：日本に帰化して小泉八雲と称した）の蔵書のことです。中央図書館5階にあります。この特集では学生のみなさんにぜひ知っておいてほしい、ヘルン文庫と大学との関係をご紹介します！



ラフカディオ・ハーンはギリシャで生まれ、アイルランドやイギリス、フランスで少年時代を過ごし、アメリカへ渡ったのち、日本へとやってきます。しかし実は一度も富山を訪れたことはありませんでした。ではなぜ富山大学にあるのでしょうか？

ハーンが1904年（明治37）に亡くなった後、蔵書は東京の小泉家で保存されていました。しかし1923年（大正12）の関東大震災などを経て、小泉家ではどこか安全に保管できる大学への譲渡を考えていました。

そのころ、富山大学の前身校のひとつである（旧制）富山高等学校の創設準備が、初代校長となる南日恒太郎を中心に進められていました。南日恒太郎は、実弟でありハーンの教え子でもあった田部隆次から小泉家の意向を聞き、新しい高等学校に優秀な先生方を集め、富山を文化の中心とするためにも、この蔵書をぜひ招致したいと考えました。これが実を結び、ハーンの蔵書は富山へと来ることになりました。その後、戦災など大きな危機もありましたが、多くの人々のおかげで今もこの富山大学に大切に保管され、利用されています。



ヘルン文庫には、実際にハーンが収集した蔵書があり、隣接したヘルン閲覧室には、富山大学とヘルン文庫をつないだ方々にまつわるコレクションなども保管しています。

南日文庫

（旧制）富山高等学校の初代校長である英語学者南日恒太郎からの寄贈本が南日文庫です。英語学習テキストを著しており、当時の受験生からも支持されていました。実弟の田部隆次と田部重治は英文学者でした。田部隆次はハーンの子供でありハーン研究者です。田部重治は登山家としても知られ、「山と渓谷」や「忘れえぬ山」などの作品を残しています。

図書館と人文学部の間には南日恒太郎の像があります。



馬場はる氏像

南日恒太郎の要請を受け、小泉家から蔵書を購入するための資金を寄付したのが、北前船の交易で資産家であった富山市東岩瀬の馬場はるでした。馬場はるは（旧制）富山高等学校の創設資金を提供しています。

像からは小柄で上品な印象を受けますが、このような大きな決断をされる度胸と信念を持っておられたのでしょうか。

中土文庫

1923年（大正12）12月、ハーンの蔵書は富山県出身の北星堂の主人、中土義敬らにより東京の小泉家から富山へと運ばれました。写真には箱詰めされ搬送を待つヘルン文庫資料が見えます。北星堂は英語テキストや語学関連書籍を出版している東京の出版社です。

2007年にご子孫の中土久美氏から寄贈された資料の一部が中土文庫です。資料の中から、ハーンが熊本で行った講義のノートが発見され、近日出版される予定です！



ヘルン文庫では、このような活動も行っています！

- ・毎月第2,3,4水曜の13:00-16:00まで定期公開しています。ボランティア（富山八雲会のみなさん）による解説も行っていますので、お気軽にお越しください。紹介した南日文庫や中土文庫、馬場はるさんの像もありますよ。
- ・2012年7月に開館した高志の国文学館へハーン直筆の原稿「日本」を展示品として貸し出すなど、文学館や博物館などの展示会や各地でのイベントに参加しています。また、本学でも人文学部によるヘルン・プロジェクトなど、さまざまな活動が行われています。
- ・2012年10月、ヘルン文庫のウェブサイトを更新しました。デジタル化されたヘルン文庫所蔵資料もこちらから見る事ができます。→ http://www.lib.u-toyama.ac.jp/chuo/hearn/hearn_index.html

私が薦めるこの1冊

理学部教授 野崎 浩一

『三陸海岸大津波』

吉村昭氏は、綿密な取材で知られる記録文学作家である。「三陸海岸大津波」は、明治29年、昭和8年、昭和35年に三陸海岸に襲来した津波の被害について、時間とともに消えつつあった災害の記憶を、吉村氏が三陸海岸の村々を歩き回って調査した記録をもとに、40年ほど前に出版された本である。

推定50mの大津波によって2万人強の死者を出した明治29年の災害についての記述は、3.11東日本大震災の大津波被害のことかと錯覚する場面が多く衝撃的である。吉村氏の「自然は、人間の想像をはるかに超えた姿をみせる。」というフレーズが、すさまじい津波の破壊力を経験した我々の心に深く刻まれる。



今回お薦めの図書は・・・

三陸海岸大津波 / 吉村昭著
文春文庫 よ1ー40 (文藝春秋)2004
請求記号 452.512||Yo
中央図書館 1階学生用図書 配架

図書館からのお知らせ

○貸出資料の延滞に注意！

貸出期間を過ぎると、遅れた日数分新たに図書を借りることができなくなります。他の利用者の迷惑にもなりますので、返却期限はお守りください。また、本年度卒業予定の方は、**必ず卒業前にすべての本をお返し下さい。**

○中央図書館講習会開催しました。ご参加ありがとうございました！

人文学部 池田真治先生による「レポート・論文の書き方」(12月5日)には61名、図書館職員による「文献の探し方・入手方法」(11月28日、12月5日、12月12日)には計44名の方に参加していただきました。図書館ではこれからもレポート作成を支援していきます！

○選書ツアーで選ばれた本を展示・貸出しています。

11月に開催した、「選書ツアー」で選ばれた本を、図書館1階の展示コーナーで展示しています。貸出もできるので、是非ご覧ください。選書ツアーの様様や、選ばれた本の一覧を中央図書館のブログに掲載しています。

編集・発行 富山大学附属図書館中央図書館 〒930-8555 富山県富山市五福3190
TEL: 076-445-6898 / FAX: 076-445-6902 / E-Mail: chuolib@adm.u-toyama.ac.jp

- 附属図書館URL <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/>
- 中央図書館URL <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/chuo/>
- 携帯版URL <http://opac.lib.u-toyama.ac.jp/mobile/> (右のQRコードからもアクセスできます→)



◇中央図書館開館カレンダー◇

通常開館 8:45-22:00
休日開館 10:00-17:00
短縮開館 9:00-17:00
短縮開館(その他)
休日開館(試験期) 10:00-20:00
赤字は休館日です

1月							2月							3月							
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31	

新サービス案内



ウェブサイト
リニューアル

2012年10月からウェブサイトリニューアルしています。デザインと構成を一新し、使いやすくなったウェブサイトをご活用ください！

<http://www.lib.u-toyama.ac.jp/chuo/>



twitter

twitterにて、イベントのお知らせ、本や施設の紹介など、図書館に関連する旬な情報をタイムリーに発信しています。本格運用を開始し、LiLiKaファン急増中！？

ぜひ、フォローをお願いします！
https://twitter.com/liлика_toyama



Facebook

中央図書館のFacebookページを試用運用しています。Facebookアカウントをお持ちの方は、「いいね！」ボタンのクリック、よろしくをお願いします！
<http://www.facebook.com/tomidailibrary>

【編集後記】

ヘルン文庫にはさまざまなエピソードがあり、それだけ多くの方が関わり、大事にされてきたことがうかがえます。定期公開もしていますので、ぜひ来てみてくださいね！(AK)

